

**製品名: MEKK2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00088**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 70 kDa; Observed MW: 70 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAP3K2
別名	MAP3K2; MAPKKK2; MEKK2; Mitogen-activated protein kinase kinase kinase 2; MAPK/ERK kinase kinase 2; MEK kinase 2; MEKK 2
遺伝子 ID	10746
SwissProt ID	Q9Y2U5
免疫原	ヒト MEKK2 の合成ペプチド

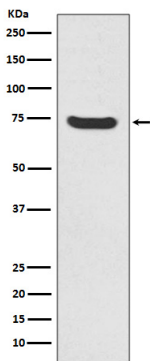
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、セリン / スレオニンプロテインキナーゼファミリーのメンバーです。このキナーゼは、MAP キナーゼシグナル伝達経路に関与するキナーゼ (MAPK7 および MAP2K4 を含む) を優先的に活性化します。このキナーゼは、I $\kappa$ B キナーゼ (IKK) を直接リン酸化して活性化することが示されており、NF- $\kappa$ B シグナル伝達経路において役割を果たしています。また、このキナーゼはプロテインキナーゼ C 関連キナーゼ 2 (PRKCL2/PRK2) に結合して活性化することも明らかになっており、PRKCL2 を介したシグナル伝達プロセスへの関与が示唆されています。

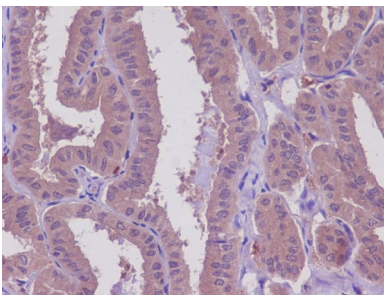
## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



MEKK2 抗体を使用した HeLa 溶解物中の MEKK2 のウエスタン ブロット分析。



MEKK2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト甲状腺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。